



世田谷稲門会会報

平成29(2017)年7月23日

第 65 号

発行人 世田谷稲門会
 編集 横田吉明
 編集 榎井浩一
 編集 小寺兼大
 編集 寺内信秀
 編集 大若昭俊
 編集 林 馨

事務局 神奈川県川崎市中原区新丸子東
 3-1100-12 M2209
 TEL/FAX 044-433-9202
 林 馨 (はやし かおる)

納涼会はタンゴを聴きながら！ 平成29年9月2日(土) 12時開宴 青山のアイビーホールにて



平成29年の納涼会は表参道・青山のアイビーホールにて開催されます。主催は世田谷稲門会(担当:千歳会、さくら会)で、バザー(担当:レディースクラブ)も同時開催されます。出演はタンゴバンド「ロス・ポジートス」です。真夏の昼時、タンゴの名曲を聴きながら美味しい料理をいただきます。

また、バザーの売上金は「地域サポート部会」を通じて福祉施設への寄付を予定します。



ロス・ポジートス



世田谷稲門会の行事で初めてタンゴバンドの出演が実現することになった。「ロス・ポジートス」の皆さん10名が来演する。いずれも早稲田大学

申し込みは同封されている納涼会募集案内と振込用紙にてお願いいたします。
 会費は8000円です。

(副会長・鈴木宏治)

タンゴの名曲で至福のひと時を
 タンゴの伝統ある「オルケスタ・デ・タンゴ・ワセダ」の出身。今年で66年の歴史を持ち、プロやセミプロの名演奏家を輩出しており、全国の大学でただ一つこの伝統を持続している。トラッドなアルゼンチンタンゴを得意とし、日本を代表するプロ・アマのタンゴバンドが出演する「東京タンゴ祭」にも5回連続出演を果たしている。レパートリーとして、カフェドミンゲス、フェリシア、ラ・クンパルシータなどの名曲を数多く披露する予定です。また今回は特別にダンサーの参加もあり、情熱・追憶・躍動・哀愁そして感動の時間をお過ごしください。
 極上な調べをあなたに。

世田谷ぶらさんぽ

第6回

砧公園・世田谷美術館



見渡すかぎりの芝生

砧(きぬた)公園は東京都23区の南西部に位置し、近くの多摩川を渡ると神奈川です。敷地面積は約40万平米で東京ディズニーランドとほぼ同じ広さです。

砧公園のもととなる砧大緑地は昭和15年に東京府が計画した6か所の大緑地の一つとして誕生し、戦後の昭和30年に「東京都砧ゴルフ場」として公開制で利用されました。因みに当時の利用料は大人一日300円でした。昭和41年に都民の意見でゴルフ場は廃止され、「砧ファミリーパーク」として開園しました。世田谷稲門会でもここ数年砧公園で「お花見の会」を実施しており、区民の憩いの場として利用されています。

砧公園の一角にあるのが世田谷美術館です。昭和61年に開館しました。建築家内井昭蔵の代表作といわれています。地下1階地上2階で木々に埋まるように有機的な平面形状で展開された建築物です。アンリ・ルソー、草間彌生、片岡球子などの作品を収蔵しています。



世田谷美術館

【アクセス】

田園都市線用賀駅から徒歩約20分、バスは1番乗り場から美術館行きに乗って「美術館」で下車210円。小田急線千歳船橋駅から東急バス田園調布行きで「砧公園緑地入口」で下車。成城学園前駅から東急バス都立大学北口行きで「岡本一丁目」で下車。



砧公園入口

第26回定時総会報告

平成29年6月18日(日)、午前11時、世田谷稲門会第26回定時総会が青山のアイビーホールにて行われた。来賓を含む90名の参加を得て総会が始まった。



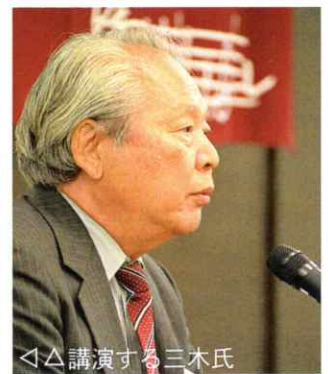
挨拶する横田会長

島田實幹社長の司会で総会が始まった。まずは28年度にご逝去された7名の会員のご冥福を祈り、黙祷をささげた。続いて横田会長から開会のご挨拶があり、総会の議事に入った。横田会長を議長として、林事務局長、桃井幹事、山田監事からそれぞれの議案に関する説明があり、議案I、IIともに無事に承認され、総会は滞りなく終了した。

第二部は、小口浩一幹事の司会により始まった。「コンバットマーチ」の作曲者である三木佑二郎氏の講演である。同氏は昭和41年に商学部を卒業されたのち、竹中工務



総会司会の島田幹事長



講演する三木氏



店に就職したが、仕事に合わず退職、トラック運転手などをした後、実兄と「セレスポ」を起業し専務になった。その後、小豆島国際ホテルの社長を経て、生地である小豆島の町長になるなど実にバラエティに富んだ人生を歩んでこられた。その後、早稲田大学から招聘されて東京都23区の地区稲門会の立ち上げにご苦労された。大田稲門会、銀座稲門会、中央稲門会、上野稲門会、浅草稲門会、台東稲門会統合など、



第二・三部司会の小口幹事



講演を聴く会員の皆さん

4年生のとき「コンバット」を作曲した。これによって早稲田は久しぶりの優勝を飾ったが、折りしも学園紛争が激化し、ご本人は「コンバット」を歌うことなく卒業し、竹中

各地稲門会の立ち上げでのご苦労話はとても興味深く聴くことができた。昭和40年、東京六大学野球で早稲田は下位に低迷していたが、何とか元気づけようと

工務店に入社。作ったことも忘れていたが、数年後にたまたま高校野球の浜松商業の応援で「コンバットマーチ」を耳にし、母校応援部に確認したところ、自分の作曲した「コンバットマーチ」が応援指導で広まっていることを聞いた。広島カープが「コンバットマーチ」を採用し一般に広まったが、実はカープが使用しているのは「ダッシュ慶応」との合作とのこと。その後には作曲家の中村八大氏から作曲家としての協会登録を勧められ、現在では作曲家、作詞家の両方として著作権協会に登録されている。

締めくくりに、最近の早稲田大学のありように危機感を感じているとお話をされた。現役学生の70%が関東地区出身(親は地方出身が多い)、25%が女子学生。(※現時点では37%)4年間在学して早稲田らしいカラーに染まるのが少なくなると、20年後、30年後に早稲田カラーの崩壊の危機が予想される。早稲田大学やOBは危機感を持って早稲田カラーの存続を模索してほしいと、まことに示唆に富んだお話をしていた。第三部は懇親会だ。露木茂



△紹介する江原副会長と鈴木全副会長
△納涼会の人全
△世話人全
△歌唱校員全

副会長のご挨拶の後、早稲田大学地域コーディネータの嶋村貴志氏、杉並稲門会の久保田会長からご挨拶をいただき、鈴木宏治副会長の乾杯の音頭で宴会が始まった。美味しいコース料理と旨い日本酒(千寿)をいただきながら楽しいひと時を過ごした。新入会員の紹介や納涼会の紹介などを途中に挟みながら、あつという間に楽しいひと時は終了し、最後は池田友彦幹事のリードにより校歌斉唱をして、熊谷慶紀副会長の挨拶でお開きとなった。(複並 俊一/記)

世田谷稲門会・平成28年度決算及び29年度予算

(単位:円)

項 目		28年度予算	28年度実績	29年度予算案
前期末積立金		300,000	300,000	400,000
前期繰越金		① 1,089,646	1,089,646	1,351,488
収 入	年会費(準会員含み)	② 1,393,000	1,350,000	1,388,000
	総会 会費	ア 800,000	662,000	700,000
	新年会 会費	イ 1,000,000	820,000	900,000
	納涼会 会費	ウ 1,000,000	954,000	1,000,000
	諸行事 小計(ア~ウ)	③ 2,800,000	2,436,000	2,600,000
	校友会組織強化補助金	エ 496,000	528,000	528,000
	利息収入	オ 104	7	10
	雑収入(寄付受入含む)	カ 0	14,240	0
	その他収入小計(エ~カ)	④ 496,104	542,247	528,010
	収入合計②③④		4,689,104	4,328,247
支 出	総会 費用	1 800,000	681,130	700,000
	新年会 費用	2 1,000,000	727,197	800,000
	新年会景品代	3 100,000	80,078	100,000
	納涼会 費用	4 1,000,000	926,000	1,000,000
	諸行事 小計(1~4)	I 2,900,000	2,414,405	2,600,000
	早大サポーターズクラブ寄付金	5 50,000	50,000	50,000
	ブロック会支援金	6 70,000	70,000	70,000
	ブロック会・部会代表者会議費	7 40,000	36,630	40,000
	校友会23区活動費	8 200,000	194,000	200,000
	広報活動費	9 650,000	589,980	650,000
	会議費	10 270,000	242,844	270,000
	事務用品費	11 120,000	97,276	120,000
	通信費	12 210,000	176,213	200,000
	名簿作成費	13 100,000	47,445	0
	雑費	14 80,000	47,612	60,000
	世田谷25周年記念行事費	15		100,000
	積立金繰入額	16 100,000	100,000	100,000
	予備費	17		110,000
諸経費 小計(5~18)	II 1,890,000	1,652,000	1,970,000	
支出合計 I+II		4,790,000	4,066,405	4,570,000
次期繰越金		988,750	1,351,488	1,297,498
積立金(記念事業等)		400,000	400,000	500,000

28年度次期繰越金+積立金=1,751,488円 内訳 現金57,511 銀行預金1,147,368 ゆうちょ預金546,569

平成29年度役員体制

今年度は非改選期のため、役員の変動はありません。昨年度に引き続き下記の体制で進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

役 職	氏 名	卒年・学部	担当など
常任幹事・会長	横田 吉明	昭38・商	
常任幹事・幹事長	島田 實	昭40・法	
常任幹事・副会長	鈴木 宏治	昭38・商	ブロック統轄
常任幹事・副会長	露木 茂	昭38・政経	イベント企画統轄、レディースクラブ統轄
常任幹事・副会長	熊谷 慶紀	昭38・政経	部会統轄
常任幹事・事務局長	林 馨	昭45・理工	地域サポート活動部会統轄
常任幹事	国澤 俊一	昭43・理工	23区支部担当統轄、組織拡充統轄
幹事	河野 美和子	昭35・教育	レディースクラブ担当
幹事	矢後 勝洋	昭40・政経	ブロック会担当
幹事	真木 郁夫	昭40・理工	ブロック会担当
幹事	富塚 兆彌	昭41・政経	組織拡充担当
幹事	小林 昭一郎	昭41・政経	部会担当
幹事	旭 正勝	昭41・商	部会担当
幹事	桃井 清治	昭44・政経	事務局・会計担当
幹事	井上 文	昭45・理工	組織拡充担当
幹事	小口 浩一	昭45・法	広報HP担当
幹事・副幹事長	榎並 俊一	昭46・理工	広報HP統轄
幹事	薄井 好雄	昭47・商	事務局担当
幹事・事務局長補佐	戸田 昇	昭47・政経	事務局担当、23区支部担当
幹事	齋藤 正憲	昭50・理工	事務局担当
幹事	篠崎 章子	昭52・政経	事務局担当、レディースクラブ担当、地域サポート活動部会担当
幹事	中島 史郎	昭59・法	青年部担当
幹事	池田 友彦	昭62・文	青年部担当
監事	寺島 邦夫	昭38・政経	青年部統轄、広報HP担当、イベント企画担当
監事	山田 昭	昭50・政経	組織拡充担当
顧問	土倉 享一	昭34・政経	
顧問	柏 良子	昭31・政経	レディースクラブ担当
顧問	麻生 卓司	昭34・政経	

ブロック会だより

西北

平成 29 年 3 月 18 日（土）に第 39 回西北会例会を開催。第一部は午後 2 時より代々木上原の「古賀政男音楽博物館」にてクラシックコンサートを開催。抒情的な古賀メロディーを 4 人の声楽家がクラシックスタイルで、激しく時に優しく絶妙なテクニックで熱唱。後半はオペラアリアの世界。張りのある澄んだ声で会場を酔わせた。全員で「東京ラブソディ」を大合唱して会場を後にした。



第二部は下北沢に移り、午後 5 時 30 分より四川料理・天華で懇親会。柏良子代表よりレディースクラブの方を含めて大勢の参加に謝意を示され、麻生卓司さんの乾杯の発声で開宴。その間に横田吉明会長より西北会や本部の動き他有意義な話。又、矢島嗣久北澤八幡神社宮司からは寺島邦夫さんのジャズなどGW期間の芸能祭の案内。飛び入りで松浦晋三郎さん、前原祖彦さんの興味ある話。あちこちで懇親交流の輪が広がり、和やかな時間が過ぎていく。時間も迫り、元応援部・トランペッターの宮原弥太郎さんから柏代表への感謝を述べ、「この楽しい会をいつまでも」と中締め挨拶。再会を約して解散。参加者 35 名。
(桃井 清治 / 記)

キャロット

平成 29 年 5 月 16 日（火）午後 1 時 30 分よりキャロット会懇親会を錦糸町駅徒歩 3 分の東武ホテルレバント東京の 24F レストラン「簾」に於いて、14 名の会員の参加を得て開催致しました。



当日は少し雲がありましたが、一寸暑い位の気候でした。目の前の東京スカイツリーを眺め、長老の奥田さんの乾杯の音頭で、昼間からの飲み会となりました。会席コース料理を味わいながら親睦の 2 時間はあっという間にお開きになりました。食後は錦糸町界隈、両国方面、直帰組と三々五々散会しました。

【出席者】青木明彦、榎並俊一、奥田隆・眞知子、加藤隆夫、西喜永治、下山芳男、鈴木俊光、宗慎治、富塚兆弥、萩原健、星野裕、御園生勇、森昌治
(富塚 兆弥 / 記)

きぬた

きぬた会の春の催しとして、4 月 4 日（火）に砧公園で「花見の会」をさくら会・キャロット会と共催致しました。今年は開花宣言後に気温の上からない日が続きましたが当日は絶好のお花見日和に恵まれ、満開直前の桜のもと、28 名の方に参加頂き楽しい会を催すことができました。共催しました 3 ブロックの他全てのブロックからもご参加いただき、ブロックを越えて親睦を深めることができました。この「花見の会」は会費 2000 円でオードブル、乾き物のおつまみ、缶ビール、清涼飲料を用意し、また参加の皆様からアルコール類を持ち寄っていただく「長屋の花見」方式で行っております。



今後も恒例の会として開催していきたいと考えております。40 畳敷きのブルーシートがあり席の用意は十分ですので、来年は皆様奮っての参加を是非宜しくお願い致します。

きぬた会は今後の催しとして、新入会員の皆様とのランチ会を夏に、講演会と食事の懇親会を秋に計画しております。
(國澤 俊一 / 記)

玉川

○平成 29 年 4 月 5 日（水）、王子のお札と切手の博物館見学会を実施しました。12 名が参加しお札の歴史や偽造防止技術等について学び、大変興味深いものでした。終了後都電荒川線に乗車して早稲田に向かい、神田川沿いの満開の桜を満喫しながら散策して、大学近くの高田牧舎で昼食会を行いました。



○5 月 14 日（日）、総会を玉川区民会館で開催しました。本部から横田会長にご出席いただき、会員 67 名中 27 名が出席しました。午前 10 時 30 分に高橋さんの司会で開会。新年度の世話人人事報告の後、28 年度活動報告及び決算報告、29 年度活動計画説明と議事が進行し承認されました。

続いて会員の木原禎子さん（S36 理工）の講演会を行いました。波乱万丈の人生を振り返っての内容を中心に、ソニー（株）で井深大氏、盛田昭夫氏と共に一時代を築いて偉大な業績を残されたご主人（木原信敏氏・早大卒）の思い出話と共に、大変含蓄のあるお話をさせていただきました。

正午過ぎから懇親会に入りました。上野さんの発声で乾杯をし、食事と歓談となりました。新しく世話人に就任した米窪さんにスピーチをお願いしました。その後昨年度以降の新入・退会会員の報告、世田谷稲門会総会の案内、福引付稲門祭記念品販売・奨学金募集の案内と続きました。奨学金寄付金を含めて大変多くの方々のご協力をいただきました。続いて、玉川会の各部会主担当より本年度活動予定の発表を行いました。小林昭一郎さんに締めめの挨拶をしていただき、午後2時過ぎに閉会しました。（太田 隆 / 記）

さくら

平成29年3月12日（日）開催の懇親昼食会に続き、4月4日（火）さくら会、きぬた会、キャロット会の共催により花見の会を砧公園にて開催。当日は参加の方々から珍しい洋酒、日本酒、ワイン、焼酎の贈呈もあり、素晴らしい快晴と満開の桜の下で大いに親睦を深めるひと時を楽しみました。

また、今年の納涼会はさくら会と千歳会の共催により9月2日（土）に開催する事に決まり、皆さんに喜んで参加してもらえるよう運営の打ち合わせを数回にわたり行っています。詳しくはこの会報第65号の一面に紹介されていますので、会員の皆様はもとより、ご家族ご親戚の方々もお誘いの上ぜひご参加下さるよう宜しくお願い致します。（江原 利次 / 記）

けやき

平成29年のけやき会総会は4月15日（土）12時から千歳船橋の“レストランオーランデブー”で開催されました。出席者は22名で本部からは幹事の富塚さんにお越し頂きました。総会は型どおり進み議事は全会一致で承認頂きました。また新たにけやき会の世話人として花澤隆さん（S49年理工）が選任され、世話人は9名になりました。総会終了後は今年は趣向を変えて、富塚さんのご尽力により、二人の早稲田大学落語研究会OBによる“シロウト落語”を楽しむ事になりました。事前の富塚さんからのご指導によりわか舞台の高座を用意し、座布団を持ち込み、演者名を記載した“めぐり”まで準備して、本格的な和服姿の今柳亭波舟さん（斎藤潤司さん S57卒）と都家西北さん（渡辺信義さん S43卒）の2名が順番に高座に登壇。共に出席者を魅了する話術に敬服した次第です。

落語会後はお待ちかねのフレンチのコースランチを頂きました。「昼のお酒は効きますね」などと各テーブル毎に会話が弾み、近況報告をしながら聞きながら心地よい時間が経過しました。途中、「稲門祭」のご案内と記念のグッズの予約販売を実施したところ11名から予約及び奨学金寄付金の申し出があり、グッズ販売で52,000円、奨学金が3口3,000円の合計55,000円の売上げとなりました。出席者の積極的なご厚意に感謝でありました。

最後は全員でカラオケによる伴奏で声高らかに校歌を斉唱して総会を無事終了致しました。

（斎藤 正憲 / 記）



千歳

玉川上水は江戸初期、羽村から四谷大木戸を経て江戸城まで開通した43kmの用水路です。市民団体「玉川上水ネット」の「玉川上水・分水網の保全活用プロジェクト」が昨年12月に世界遺産の前段である、日本ユネスコ協会連盟「プロジェクト未来遺産 2016」に登録されました。学者団体やロータリークラブなども協力した結果です。防災面からも水資源の活用が再認識され、世界遺産への登録に向け活動が進められています。

そこで、4月22日（土）“玉川上水の春を歩く”というテーマで、島田幹事長にもご参加いただき、会員13名で小平地区の約2.5kmを歴史探訪しました。

12時45分に西武国分寺線「鷹の台」駅に集合し、玉川上水ネット事務局長の鈴木利博氏のご説明を聞きながら、新緑の美しい玉川上水沿いを、「一橋学園」まで散策しました。

途中、「ふれあい下水道館」では地下25mの本物の下水道管（直径4.5m）の中に入り、異臭の中、家庭などで使われた下水が流れる様子を見学しました。また、玉川上水は明治期には舟運として使われていた時期もあることを知りました。

午後4時15分から井の頭公園を臨む吉祥寺のイタリアンレストラン「プリミ・パチ」に場所を移し、横田会長、江原さくら会代表世話人にもご出席いただき、総勢25名にて総会及び懇親会を開催しました。平成28年度会計報告、新入会員の紹介などのあと、鈴木利博氏に玉川上水についての講義をいただきました。未来遺産登録のあゆみなど、興味あるお話を伺いました。
(鈴木 宏治・戸田 昇/記)

特別部会だより

地域サポート活動

地域サポート活動部会は、世田谷稲門会の会員の皆さまからの暖かいご寄付をプールし、地域の課題解決に向けて活動しているグループを支援させていただいています。

今年度は、赤堤3丁目(世田谷線松原駅前)の商店街のなかのレンタルスペースで開催されている「せたがや子ども食堂・みっと」を支援することになりました。この「子ども食堂・みっと」は、部会の一員でもあるけやき会の井上が、友人や地域の活動団体と協力して開いているものです。子どもの6人に1人が貧困状態にあるといわれるなか、子どもがひとりでも来られる食堂として、平成27年11



月にスタートしました。月に第2、第4の木曜日、3時から8時まで開いています。子どもは無料、大人は300円をいただきます。毎食平均15～20食とボランティアさん(日大の学生さん)、スタッフ分で30食程度を作ります。栄養のバランスや、季節を感じさせる献立を心がけ、進級・進学などのお祝い膳も考えています。このたび、機能満載のブレンダーとスープクッカー(写真)を世田谷稲門会よりプレゼントしていただきました。ますますメニューも幅広くなるとスタッフ一同(みっと)大感激!早速、スープクッカーを使ってミネストローネスープを作りました。野菜が苦手な子が多いのですが、このスープはみんな大好きです。お鍋のように煮詰まらないし、あつあつで出せるのでとても喜ばれました。これも皆さまからのご寄付のおかげと感謝しております。

今後とも世田谷の子どもたちのために、暖かいご支援をよろしく願いいたします。
(井上 文/記)

レディースクラブ

平成26年1月に柏良子さんを代表世話人に、露木茂さんを準備委員長として、稲門会の発展に寄与することを趣旨にレディースクラブは発足し、早や3年が経過しました。

早稲田大学の女子学生の割合も現在37%だそうで、殊更、レディースと謳うのもいささかの感もあります。しかし、私たちのレディースクラブの活動は地道ですが、継続して行くことに意義があると考えます。

昨年度で、柏代表世話人・辻村副代表が退任され、今年度から代表世話人河野美和子・副代表井澤美知恵に交代し、応援団長として露木茂さんには続投いただいております。

恒例の新春懇親会では福引を、そして納涼会ではバザーを当番ブロックと協賛で行います。

稲門祭への協力に加えて、前年度開催の身近な問題「老後の備えとは」の講座(講師:不動産鑑定士、当会会員のの中村京さん)が好評で、本講座継続要望の声が多く、その声を活かして、9月9日(土)10:00～12:00「老後の備え・パートII」を北沢タウンホール12階スカイサロンで開催します。

稲門会会員の多数のご参加をお待ちしております。どうぞよろしくご協力ください。
(河野 美和子/記)

青年

「仕事があっても参加できる」「若手でも参加しやすい」を合い言葉に毎回楽しく盛り上がっている青年部会。ある時は自由闊達な会話に刺激を求めて。またある時は仕事で疲れた心身を癒やしに。マイペースで過ごせる素敵なひとときを提供中です。

(原稿執筆時点では)来る7月7日(金)、例会を開催する予定です。皆様が会報をご覧になる頃には、七夕伝説に思いを馳せつつビール片手に熱い語らいで賑やかなひとときを過ごしたはず!

この部会も発足から早7年を経て、青年ならではの新たな「心のふるさと」として定着してきました。年会費無し、都度飲み代を持ち寄るだけで参加できるというシンプルな魅力はそのままに、常に探求心を持って進化していきたいと思えます。

現役で仕事をされている「青年の心を持つ」皆様!年齢制限などありません、一度参加してみませんか?幹事一同心よりお待ち申し上げます。今後ともどうぞお楽しみに!
(薦田 誠/記)

趣味の部会だより

芸術芸能鑑賞

平成 29 年 5 月 26 日 (金) に恒例の第 597 回の三越落語会に 10 名参加。この日は円楽をはじめとして喬太郎など実力と人気を兼ね備えた演者がそろい落語の醍醐味を十分に味わった。落語家の人数も急増しているがこのクラスになると流石と思う芸を堪能できる。また 6 月 5 日 (月) の予定で、国立劇場での「歌舞伎教室」の案内をした。歌舞伎 18 番内で「毛抜」で中村錦之助・片岡孝太郎ほかの配役。6 月 5 日に不都合な方が多くそれぞれ分散参加となった。

次回の第 598 回三越落語会は 7 月 19 日 (水) を予定している。最近各地の公共ホールの改築が多く、良心的な音楽会の案内が減少している。9 月に鑑賞部会の総会を予定している。
(鈴木 宏治 / 記)

ゴルフ

○世田谷三田会との懇親コンペ

平成 29 年 5 月 18 日 (木)、桜ヶ丘カントリークラブにて三田会 10 名、稲門会 14 名、計 24 名の参加を得て、懇親コンペが行われた。前回大敗した当会は必勝を期して臨んだが、残念ながらまたも惨敗。2 連敗となった。敗因の一つは平均年齢 (三田会 55 歳、稲門会 73 歳) にあったようだ。

○第 91 回世田谷稲門会コンペ

6 月 1 日 (木)、富士国際ゴルフ倶楽部にて 32 名 (8 組) の参加で開催された。当日は朝からの雨で心配されたが、何とか持ちこたえ午後には晴れ間も出た。結果はグロス 91、ハンデ 27、ネット 64、8 アンダーで伊藤誠三さんが総合優勝、グランドシニア優勝は吉村豪介さん、シニア優勝は磯田進さん、レディースベストは佐伯純子さんでした。ベストグロス 41:37=78 の柳町茂さんでした。上位 7 名がアンダーパーという驚異的な結果となりました。お疲れ様でした。

(榎並 俊一 / 記)



ウォーキング

晴天に恵まれた平成 29 年 4 月 16 日 (日) 午後 1 時 JR 武蔵小金井駅に 16 名が参加し、斉藤治雄さんの案内により最初に小金井公園に立ち寄って満開の桜の他にチューリップと芝桜のガーデンを眺め記念の集合写真を撮りました。今回は江戸市民 100 万人への生活用水を供給する新緑溢れる玉川上水に沿って歴史を楽しみながら、JR 吉祥寺駅にて解散となりました。

5 月 21 日 (日) は 15 名の参加により原建司さんの案内で隅田川沿いの橋めぐり第 2 回目を行いました。コースは新富町から浜町の間を跨る 6 つの橋のユニークなデザインと歴史を訪ねながらの散策となりました。忠臣蔵の浪士達が泉岳寺をめざして渡った永代橋、ドイツのヒンデンブルク橋をモデルにした清洲橋、関東大震災のとき唯一焼け落ちず沢山の人命を救った別名「お助け橋」と呼ばれる新大橋などが特に印象に残りました。

隅田川沿いの整備されたコースはもう一つの新しい東京の顔を見せてくれる楽しい散策となりました。
(江原 利次 / 記)



囲碁将棋

世田谷稲門会囲碁部は、定例会を 5 月 20 日 (土) 「ふじみ荘」にて杉並稲門会からの 2 名とあわせ参加者 10 名で行い、おおいに盛り上がりました。

優勝者は池松八段、準優勝者は杉並の石川七段そして三位は遠藤五段でした。

6 月 3 日 (土) には関東近県からも参加する年に一度の稲門会囲碁メインイベント「オール早稲田囲碁祭」があり、世田谷稲門会からは 7 名が出場。5 名一組の団体戦なので、2 名は日頃から交流がある杉並稲門会との混成チームとしましたが、見事準優勝の好成績を挙げました。次回は 9 月下旬に定例会を予定しています。

(池松 正之 / 記)



スポーツ観戦

結局、早慶戦は1勝2敗で勝ち点を落とし、全日程を終了し、法大、東大に勝ったのみの勝ち点2で4位に終わった。加藤(2年、早実)が首位打者を獲得したが、ベストナインに選出されたのは加藤一人だった。やはり優勝した立大と2位の慶大の充実ぶりが目立ったシーズンだった。

早実の清宮幸太郎の早稲田進学が待たれる一年である。(小林 昭一郎/記)



LivedoorNews より転載

食べ歩き

第72回食べ歩き部会は5月30日(火)、代官山の有名仏レストラン『マダムトキ』にて36名が参加して開催された。『マダムトキ』は39年間の歴史があり、近年は結婚式場としても有名である。ちなみに料理のメニューは、オマールエビと雲丹のコンソメジュレ、季節のムースリソースなど7点で、味も量も完璧であった。

上田忠雄氏の乾杯の音頭で会が始まり、一通り料理を楽しみながら和やかに歓談。前原祖彦氏から、5月5日に行われた全日本クラシック大会で、奥田真知子氏が歌唱の部で活躍をされた様子のご報告があった。高橋毅氏は旅行が多く久しぶりの参加。早川久美子氏は毎回とても楽しみに参加されているとのこと。堤達也氏は5年前から食べ歩き部会に入っている。原建司氏は剣道部出身。早稲田の剣道部は最近女子が頑張っている。岸田正和氏からスポーツ観戦部会の報告があり、今回早慶戦で勝ち点を落としたこと、ラグビー部も春のシーズン調子が悪いことの報告があった。奥田真知子氏からマノン・レスコー(オペラ)の素晴らしいソプラノの披露があり、全員気分を良くした。薄井好雄氏のリードで校歌斉唱を行い閉会となった。

(大山 毅彦/記)



カラオケ

■<月例会>毎月第一土曜日 13:00-17:00 ビッグエコー下北沢南口駅前店。会費2000円。3~5室入れ替え(出欠返信で部屋割り)、飲み物2回注文つまみ&チョコ付。

■第121回4/1(14名) 定時総会<写真>。会則改訂(決算年度4/1~)運営方針(クリーンオープンオーソドックス)、役員人事(代表倉田豊、会計塚脇一帆、世話人薄井好雄・横山徹、監査役豊田恵之助)、会計報告を承認。第122回5/6(22名)、第123回6/3(12名)。

■会員紹介36名(2017.6.3現在) 麻生久江・上田緋佐子・薄井好雄・江口瞳・江口工・小倉康弘・大中学・川井泰彦・河内文雄・柏良子・熊本昭二・熊本ちづる・倉田豊・倉田政子・小池早苗・近藤正輝・近藤順亮・犀川千代子・齊藤治雄・清水延子・鈴木宏治・高田誠一・高橋惇・塚脇一帆・篤勝秋・友吉彰・豊田恵之助・永井憲一・内藤佳子・新田喜男・松村秋森・横山徹・若林昭男・脇阪元彦・脇阪典子・和田全正

(倉田 豊/記)



麻雀

麻雀の効能についてですが、指の動きを司る脳の領域は広い面積を占めており、このことから麻雀が脳の活性化に良いと言われる所だそうです。また麻雀は楽しいゲームであり快樂ホルモンのドーパミンが分泌され、つまり心身共に良いと言うことになるそうです。

麻雀部会月例大会の結果は次の通りです。

会場はいずれも用賀「鈴家」です。

- 11月13日(日) 優勝:佐藤喬 準優勝:河内文雄 3位:江口工 参加者29名
- 12月10日(土) 優勝:清水胤式 準優勝:阿部信之 3位:江口工 参加者24名
- 1月7日(土) 優勝:宮木甫 準優勝:河村卓郎 3位:吉村善智 参加者24名
- 2月5日(日) 優勝:江口工 準優勝:國澤俊一 3位:吉村善智 参加者33名
- 3月11日(土) 優勝:林馨 準優勝:小河原泰 3位:小池早苗 参加者28名 (飯田 保則/記)



俳句

平成29年4月24日(月)のさくら句会は兼題の『風光る』と季節に相応しい自由句3句を持ち寄り開催されました。5月22日(月)の句会は兼題の『鮎』と自由句に季節の移り変わりを詠みこんで楽しみました。尚、長年ご指導を頂いた日下野由季先生は俳句の世界で自他共にご多忙となられ休会される事になりました。由季先生のこれからの活躍を心よりお祈り申し上げます。(江原 利次 / 記)

風光る紫紺の校旗なびかせて	上馬の (暮田忠雄)	跳ね躍り稚鮎の上へ多摩の堰	勝 (田中 勝)
魚くはへ翔つかはせみや風光る	まもる (松尾 守)	掌若鮎の生伝わりぬ	恵那 (榎並俊一)
桜蕊付けて帰りぬ乳母車	兆弥 (冨塚兆弥)	母の日や妻に届きしスニーカー	広 (矢後勝洋)
風薫る参列多き樹木葬	雪子 (家井雪子)	高々と父なき家の鯉のぼり	たか二 (荒居隆二)
鎗矢の響く馬上や風光る	利水 (江原利次)		

釣り

平成27年度より年会費500円だったが、29年度からは無料とした。

平成29年4月16日(日)、待ちに待った劔崎沖の真鯛釣りに7名参加。今春も不調。大鯰1~11匹。鯖中型が2~3匹。

5月21日(日)、再度劔崎沖真鯛、鯰釣りに6名参加。國澤氏黒鯛45cm2枚釣るが真鯛は釣れず、大型鯰1人10匹。

今後の予定は、6月は久しぶりに平塚沖庄三郎丸よりシコイワシ餌によるヒラメ、カサゴ釣り。12日に有志で試釣りに行く。乗合でも休日は予約がとりにくい。7月はキス釣りだが、東京湾不漁なので、千葉飯岡隆生丸より大型キス釣りに変更の予定。事前に有志で試釣りに行く。

8月は川崎つり幸よりキスカ、平塚庄三郎丸よりワカシ、イナダ釣り。9月予定通りワラサ釣り。内水面は鮎も解禁、溪流釣りも最盛期。初心者用磯釣りに城ヶ島か荒崎での海タナゴ釣り。磯子か本牧海釣り施設より鯰、鰻、鱧の堤防釣り。

梅雨に入ると江戸川での手長エビ、ウナギ釣り。7月末より京浜運河で家族連れで楽しめる岡っぼりハゼ釣りが始まる。初めて釣りを楽しみたい方、遠慮なく柴田までご連絡下さい。携帯：090-6342-6688 (柴田 昇 / 記)



写真

今回は唯一の女性写真部員の小池福子さん (S39 文) の作品を紹介します。(種谷 鴻成)



何気なく覗いた「写真部会」にこれほど深入りするとは！

月一の講評会に持っていくため、土曜日曜はカメラをかついで、高尾山をうろうろ、裏磐梯をうろうろ、おかげさまで、裏磐梯になじみのペンションができ、高尾にはなじみのコーヒー屋さんまでできてしまいました。

この写真は5月27日から二泊三日で行った裏磐梯です。午前2時半に起き残雪の残る道をペンションオーナーの運転する車で案内してもらった檜原湖のほとりです。早朝の霧にかすむ湖は神々しいまでに美しいです。

(小池 福子 / 記)

会員の広場

ビバ早稲田、時代は変われど我が家は、早稲田

奥野 裕(昭33商)



平成29年4月、我が奥野家に早稲田四代目が誕生しました。都内の受験難関校である早稲田実業中学部に孫が合格、無事入学しました。一家をあげてケツを叩かれるというプレッシャー生活によく耐え、頑張ってくれました。

明治39年、私の父奥野良は、和歌山県西牟婁郡(現白浜町)に生まれ、少年時代、紀伊の海、日置川等で泳ぐ水泳少年でした。上京し、早稲田大学高等学院に入学しました。早大水泳部の一員として、また商学部の子生として過ごしました。オリンピックにも水泳

関係者として参加しました。

昭和10年、跡取り誕生、奥野裕(私)です。幼年時代、我が家には早大水泳部員が集まり、連日にぎやかにすき焼きなどで食事をする中で育ち、自然と早稲田カラーに染まってきたのでしよう。埼玉の中学から早大高等学院へ入学、親子二代同じ高校・大学となりました。迷うことなく商学部へ進学、父親の残した会計学・簿記等のノートを参考として試験に備えたことなどを記憶しています。友人達からも「それ、親父のかー」とよく言われました。

小学生時代は父親の仕事上、長野県松本での生活でしたので水泳はまるでため、スケート中心の運動や遊びでした。ノンポリ学生でしたが昭和33年無事卒業、当時就職難でしたが何とか社会人となりました。

昭和44年、長男に恵まれました。奥野拓です。会社の仕事が多忙のため、子供の教育はほとんど妻に任せきり。当時(この頃から)学校での「いじめ」問題が世間で話題になりました。中学校選択が重視され、早実中に入学させました。自然と出来た三代目でした。

た。

世の中が進歩し、コンピュータ、英語が中心となつてゆくなか、長男には英語を重点とする教育方針を決め、大学(商学部)を1年留年させ、アメリカ、ミシガンへ留学させました。帰国後、航空会社に就職、当時の現地会話力が役に立っているようです。

そして四代目、奥野創太郎です。池ノ上小学校より早実中の父親と同じコース、後輩となりました。これ以上うれしいことはありません。ご先祖様もきつと喜んでくれていることでしょう。

世田谷稲門会へ入会後、何かと早稲田へ行く機会が多くなりました。我々の入学当時と変わらない風景である大隈講堂、坪内博士記念演劇博物館。一方、ことごとく変化する校内各学部の建物。たびつきり、時代の流れを感じざるを得ません。

その早稲田に、我が家百年の歴史がリンクして「都の西北」を歌っているということはありませんか。快感です。いつまで続くかなあ、いつまでも続けてほしいなあ。我が家の早稲田でした。

中国農業と日本の技術

山崎 惣三郎(昭45商)



昭和45年、商学部を卒業し、ジャスコ(現イオン)に入社しました。

当時、賃上げは二桁でも、物価の伸びはそれ以上、そんな時でしたから、スーパーは、庶民大衆の味方、これからの成長産業と感じ、私は、就職活動をスーパーにおいていました。

そんな折、兵庫、大阪、三重の地方の小売業が、ジャスコ(Japan united stores company)の頭文字)を設立しました。連邦制経営を理念とし、全国展開をチャレンジングな目標に掲げていました。実際に夢がある会社と期待を持って応募し、第1期生として入社いたしました。

その後は、会社の成長に合わせ、人事異動は20回、転居は26回、と激しく変わりました。全国を渡り歩いたのち、

私の関心は、海外に向かっていきました。そしてアジアの時代が来ると思っていた矢先、思いがけなく、香港・中国事業への転勤の話がありました。私は香港の中国返還が、香港と中国とりわけ華南地域に、さらには東南アジア、東アジアに大きな変化をもたらすと思っていました。

平成9年の歴史的大イベントの3ヶ月前、家族(5名とラブラドル1匹)一緒に、香港に入りました。その後の5年半、グループ方針である事業の現地化を念頭に、事業の拡大を図りました。香港、華南事業を広げる過程で、多くの中国の産地、事業所を訪問し、現地の人々と交流をいたしました。こうした経験を通過して知った驚きの経験を

中国への香港返還を契機に、中国の産地から、多くの売り込みがありました。中国との取引は、直接現場を見て決める方針ですので、多くの現場を見てきました。広東省のある農業法人を視察した時の事をレポートします。

この農場は、香港が資金・技術を提供、地方政府が土地を提供して運営していました。

視察後、香港で開かれた「九州物産フェア」で来港されていた熊本県議さんと会食をした時、中国農業が話題になり、「日本より30年くらい遅れているでしようか」との問いを機会に、この日視察した農場の話をしました。

確かに機械化は遅れていますが、中国では人手はいくらでもあり、ここでは、雑草は除草剤等を使わず手で取りまします。200人ほどの出稼ぎ労働者が取り除いた雑草は美しい緑の小山になり、幾つも点在していました。

キュウリ、ナス等が日本と同じやり方で作られています。見るもの全て、日本の農業そのものでした。農場の責任者は日本での農業経験があり、日本の種屋のカタログを示し、欲しい野菜があれば直ぐに作ると積極的でした。

また、収穫した野菜を集めるプレハブ倉庫にはクーラーはありませんが、倉庫の一角の事務所はクーラーが効いており、コンピューターが3台あって、1人の白人が働いていました。何をしているか聞くと、彼はカナダ人で有機栽培の指導を行っているとのことでした。なぜコンピューター

があるかと聞くと、デジカメで野菜の写真を撮り、あと何日経つと、例えばキュウリが1万本くらい供給できる等とインターネットを使って上海、深圳等の大都市消費地に収穫予定情報を提供しており、農場と消費地が直結しているというのです。

次に、200基ほど並ぶビニールハウスを訪ねました。水耕栽培で小玉スイカとマスクメロンを作っていました。この技術を何処で学んだか聞くと、香港人は、静岡の袋井で2年働いて勉強したと言っています。食べてみますと小玉スイカもマスクメロンも糖度が低くあまり美味しくありません。でも彼は「2年経つたら必ず満足できるものを作ってみせるよ」と強気でした。

このように、日本の知識技術が生かされ、農業の分野は変わりつつありました。日本では、中国について、食品偽装、残留農薬など悪さ加減に目が向けられがちですが、現場に出かけますと、チャレンジングな挑戦をしている人々をたくさん見ることができました。

これは、20年前の香港在任時の話です。

サロン・せたがや

古典ジャズのコンサートのお知らせ

寺島邦夫先輩(当会監事)と私が学生時代に在籍した早稲田大学ニューオールリズ・ジャズ・クラブが、本年創部60周年を迎えたことを記念して、下記のとおり記念コンサート(パーティー)を開催します。

日時：9月17日(日曜日)17時より
場所：リーガロイヤルホテル 早稲田(宴会場)
会費：10,000円(予定)

当クラブは、100年以上前にアメリカ南部で誕生した古典ジャズを研究する本邦唯一の学生団体で、OB/OGは650名を超え、プロ演奏者を何名も輩出しています。当日は、ホテルの宴会場でご飲食頂きながら、現役学生バンド、各世代のOB/OGのバンドおよび当クラブ出身のプロ演奏者によるジャズ演奏、ボーカル等をお楽しみ頂けます。

ご興味のある方は、中島史郎(電話 090-4008-0399)までお問い合わせ下さい。(青年部 中島 史郎/記)

“雲海”の露天風呂から見た「雲海」

平成29年3月11日(土)、たまたま東日本大震災の慰霊の日と重なってしまいましたが、今年も仲間たちと一泊二日の温泉旅行に参加。場所は新潟県十日町市松代(マツダイ)の「雲海」。毎年3月の第2土日に旧松代町で30年続いている「越後まつだい冬の陣」が開催され、私が所属しているボランティア団体「世田谷いなせなおやじ塾」が“参戦”。毎年1月初旬に世田谷区役所で開催される「新年子ども祭り」に25年前から松代町からトラック数台分の雪が贈られて来てスロープやかまくらを作って子供たちに「雪国体験」を提供。そのお礼という事で区役所の職員が松代町の「冬の陣」のイベントに参戦。我々の目的は“温泉と酒と美味しいメシ”。



中でも十日町市営の宿泊施設「雲海」の露天風呂から朝方のみ見られる「下界の雲海」の絶景が感動的。今年はちょっと薄かったが、これだ。昨夜の祭りの前夜祭会場が「雲海」の底に静かに沈んでいた。

(けやき会 斎藤 正憲/記)

原稿送り先 榎並 俊一 〒154-0004 世田谷区太子堂5-17-3
 TEL/FAX 03-3414-6587
 E-mail enasan_1948.2.19@kbh.biglobe.ne.jp

世田谷稲門会 会員異動状況 平成29年5月31日現在

〔新入正会員〕 個人情報につき不掲載

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所	電話	ブロック会
山本 堯	昭39	商				玉川
大重 史朗	平03	文				西北
角宮 舞	平26	商				玉川
藤島 直迪	昭43	理工				
浅沼 肇	昭40	商				きぬた
奥田 次郎	昭34	理工				キャロット

〔退会会員〕

氏名	卒年	学部	備考			ブロック会
清水 明雄	昭31	政経				けやき
盛田 伯	昭38	文				西北
大月 忠孝	昭34	教育				千歳
久保 宏	昭30	理工				キャロット
谷田部 茂	昭44	商				玉川
中西 泰介	平24	教育				キャロット
山辺 秀敏	昭51	理工				玉川
中村 一男	昭36	商				
福田 憲一	昭47	商				キャロット
林 譲	昭43	商				けやき
三ツ谷 襄一	昭43	理工				さくら
山崎 江代子	昭42	文				けやき
諏訪内 嘉久	昭34	政経				玉川
石崎 浩一郎	昭36	政経				キャロット
川村 保夫	昭34	商				きぬた
田島 櫻子	平09	文				キャロット
留川 浩一	平03	法				けやき
野田 守	昭46	理工				

〔退会準会員〕

正会員名	準会員名	備考
後藤 保則	後藤 清子	
故斎田秀雄	斎田 冬生	

〔住所変更・訂正〕

氏名	卒年	学部	郵便番号	住所等	電話	ブロック会
池松 正之	昭57	商				さくら
浮田 靖彦	昭34	法				さくら
坂井 宏爾	平03	教育				キャロット
小山田 安宏	昭31	政経				

〔その他変更・修正〕

氏名	卒年	学部	修正箇所			
			メールアドレス	電話	FAX	その他
中館 亨	昭44	政経				
小山田 安宏	昭31	政経				

事務局からのお願い:

会員みなさまの入退会はもとより、転居の場合は郵便局への届け出だけではなく、世田谷稲門会事務局にも忘れずにご連絡ください。また、電話番号、e-mailアドレス、ブロック会の変更、名簿の修正事項も事務局まで必ずご連絡ください。

事務局担当 篠崎 章子 電話 03-3305-4650 e-mail; shinoshoko@gmail.com

編集後記

当会は住宅地区という性格上、会社員・公務員OB・OGが多く年金生活者の割合も高いと思います。

いつも感じているのは総会、新年会などに参加される方が固定化していることです。年金生活者にとって参加費が八千円〜一万円は高額です。

稲門音楽連盟（十三音楽稲門会一万六千名）では「ステージがあり三〜五百人収容でせいぜい五〜六千円程度で飲食できる宴会場がないか」と、大学はじめ各方面に働き掛けをしています。

記念会堂の跡地に早稲田アリーナの建設が進められ募金活動をしています。ここは基本的にスポーツ施設であり関係施設の確保は難しいとのこと。

ホテルでは高い、ガーデンハウスでは学生食堂でもあり音響も良くありません。

二十三区支部の稲門会員は全会員の四分の一を占めるところですが、安く飲食できる会場探しの苦労は他区でも同じだと思います。

音楽連盟と一緒に新築に大学にそんな施設を建設していただけないか働き掛けをしませんか。

（寺島 邦夫／記）